

## 新宿区基本構想

### <基本理念>

#### 区民が主役の自治を創ります

区政の主役は区民であり、区政のあらゆる局面において、区民の意志を尊重し、区民の意欲や創意工夫を活かしたまちづくりを進めます。また、区民の参画と協働により、それぞれの地域の個性ある生活や文化を重視して、豊かな地域社会を創ります。

#### 一人ひとりを人として大切に作る社会を築きます

新宿区は、多くの人々が暮らし、働き、学ぶ場であり、また憩い、くつろぎ、楽しむ都市です。この多様性と懐の深さを積極的にとらえ、区民一人ひとりが、互いの多様な個性を理解し合い、認め合うとともに、地域の一員として共に生きていく福祉社会を築きます。

#### 次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします

新宿の土地、自然、歴史、文化などのまちの記憶を共有するとともに、今を生きる人だけでなく、次の世代も、夢と希望を持って、心豊かに平和に生きることが出来る安定した社会をめざします。そして、次の世代にも引き継いでいくことができる、将来にわたって持続可能な社会を創っていきます。

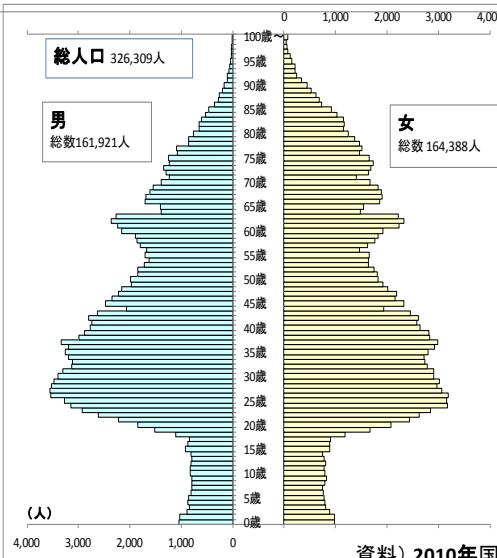
### <めざすまちの姿>

#### 『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

- 『新宿力』とは、新宿区に住む人々はもとより、新宿区で働き、学び、活動する多くの人々による「自分たちのまちは、自分たちで担い、自分たちで創りあげたい」という《自治の力》を象徴的に表したものです。
- それは、次の二つから成り立つものです。
- 一つは自然や歴史、文化芸術、経済活動等を背景に、これまで新宿が蓄積し培ってきた豊かな地域の力です。
- もう一つは多様性、先端性を受容する、都市としての懐の深さを背景に、新宿に集まる多種多様な人の持つ無限に広がる未知のエネルギーです。
- この二つを包括的に表現したのが『新宿力』です。
- わたしたちは、『新宿力』を原動力として、これからも多様な人々との交流を深め、活発化することにより、「にぎわい」がみなぎる新宿を創造していきます。また、同時にわたしたちは、都市としての「やすらぎ」も大切と考えます。
- 「やすらぎ」と「にぎわい」が共存し、調和したまち・新宿の未来を、次世代を担う子どもたちの将来を見据え、わたしたちは、創造していきます。
- この『新宿力』とは何かを自問するところから、わたしたちのこれからのまちづくりが始まります。

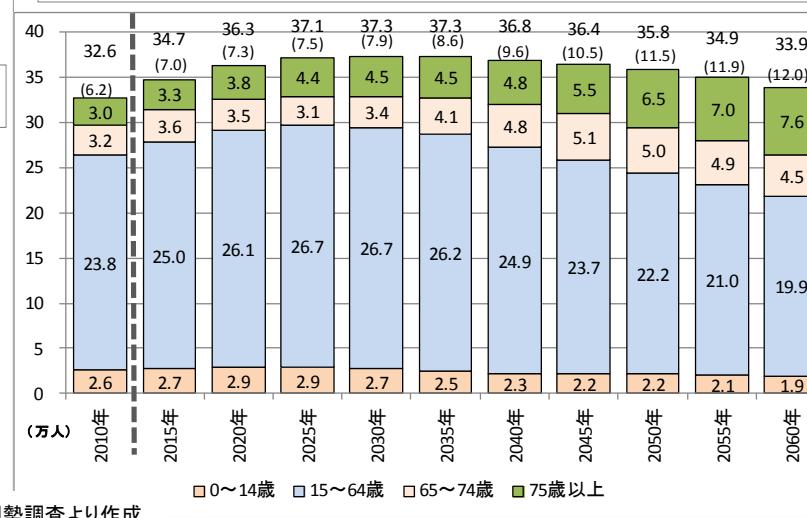
(図表1 新宿区の人口ピラミッド)

新宿区は男女とも18歳までが非常に少なく、20歳代が極めて多くなっていることが特徴です。



(図表2 新宿区の将来推計人口)

新宿区の国勢調査に基づく将来推計人口は、2030年に37.3万人でピークを迎え、2035年まで維持し、その後減少し、2060年に33.9万人となり、その時点の高齢者人口は12万人、高齢者比率は35.5%となる見込みです。



## 総合計画のベースとなる5つの基本政策

### 基本政策Ⅰ 暮らしやすさ1番の新宿

健康、高齢者、障害者、子育て支援、教育、セーフティネット、若者支援、男女共同参画、コミュニティ

↓9月5日の第3回審議会でご審議いただく基本政策

### 基本政策Ⅱ 新宿の高度防災都市化と安全安心の強化

耐震化、不燃化、防災、安全・安心、生活環境

### 基本政策Ⅲ 賑わい都市・新宿の創造

都市基盤、ユニバーサルデザイン、みどり、環境、産業振興、観光、文化歴史、生涯学習、スポーツ、多文化共生、平和

### 基本政策Ⅳ 健全な区財政の確立

効果的・効率的な行財政運営、行政評価、区有施設のあり方

### 基本政策Ⅴ 好感度1番の区役所

窓口サービスの充実、職員の人材育成、地方分権の推進